１．基本情報

体験談記入日（☆）	2022 年 5　月　20　日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	経済学部
留学時の学年（☆）	4 年
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	✓交換留学　□　研究留学助成金 □　その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	カナダ
滞在都市（☆）	バンクーバー
留学先大学等名（☆）	ブリティッシュコロンビア大学
留学先での所属学部/研究科（☆）	ソウダービジネススクール
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日（☆）	2021 年　9　月　5　日
渡航先からの出国日（☆）	2022 年　7　月　30　日
渡航先国での滞在期間（☆）	11 か月
同伴者の有無・続柄・年齢等	なし
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称	COMM 388 Design Methods for Business Innovation
履修期間	Term 2
授業時間（〇分×△回）	180 分×15 回
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	3
履修科目名称	COMM 280 Entrepreneurship
履修期間	Term 2
授業時間（〇分×△回）	90 分×30 回
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	3
履修科目名称	COMM 383 Innovation Leadership
履修期間	Term 1
授業時間（〇分×△回）	90 分×30 回
授業形態（講義・セミナー）	講義
取得単位数	3
履修科目名称	COMM 466 New Venture Design
履修期間	Term 1

授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	90 分×30 回 講義 3
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	KORN 200 Intermediate Korean Term 1-2 60 分×90 回 講義 6
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	日本人はクラスに一人いるかいないか。正規留学生（international student：カナダ国籍ではない、UBC で学位を取得する人）の割合は体感で半分弱くらいはいた気がします。また交換留学生も授業によっては 40%くらいいたりもし

	ます。
成績評価の方法(試験・課題の数や分量等)	COMM クラスに関しては、学期中にペーパーが二回くらいとプレゼンが三回くらい。KORN クラスに関しては、小テストが一週間に一回くらいと確認テストが 2−3 週間に一回、期末テストが最後に一回。
履修科目の制限等（あれば）	特にありませんでした。Prerequisite を満たしてなくても、go global にその授業を取りたい旨のメールを送れば、定員が開いている限り入れてくれました。また go global を通さなくても、マイページから履修登録をすることが可能です。
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	ライティングを添削してくれる無料のサービスが UBC にあると聞いたことがありますが、実際に使わなかったので詳しいことはわかりません。Tandem という言語交換活動もあるようなので調べてみてもいいかもしれません。（英語に限らずどの言語でも可）
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	ありません。良くも悪くも現地の学生、正規留学生と同じ扱いのため、下駄をはかせてくれる等もありません。
その他	私は授業期間が始まって一週間後くらいにふと韓国語の授業を取りたくなり、事前面接の期間が終了していたのでダメもとで教授に直接連絡したところ、事前面接なしで入れてくれました。Go global は基本親切に対応してくれますが、融通がきかなかったり、留学生からの質問が多くて返信が遅かったりするので、直接教授にメールしてみるのもありです。実際周りの友達も気軽にメールを送っていました。

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	ご飯を食べるところはオンキャンパスに無限にあります。日本の大学の食堂とは違って、普通のお店（subway やラーメン屋さん）がオンキャンパスに出店している感覚です。購買も同様です。Book store に参考書が売っています。
図書館について	5 つ以上あると聞いたことがありますが、よく学生が使うのは IKB と David Lam です。勉強スペースも無数にあります。また Forestry Building もとてもきれいで勉強におすすめです。
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	たぶんあるはずですが、使ったことがないのでわかりません。

	ただコロナの検査キットを無料で配ってくれるところがありました。
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	とてもたくさんあります。周りの日本人交換留学生は JA や JCN といった日本人コミュニティにとりあえず入っている人がほとんどでした。あとは交換留学生でも入りやすいのはダンスやアカペラだと思います。日本の大学と違い、一年ごとにメンバーを募集するので、交換留学生だから入れないということはありません。
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	Go global というところが留学生（正規・交換どちらも）の受け口になっているので、とりあえずそこに相談したらいいと思います。メールは返信がすぐではなかったりするので直接オフィスに行くか電話がはやいです。
オリエンテーション等学校主催の行事について	9 月の最初のほうは Imagine day といって交換留学生がほぼ全員参加するオリエンテーションがありました。それ以外は自分から情報を見つけに行かないと探せないと思います。
現地の学生との交流について	グループ活動がある授業をとればほぼ確実に出会えると思いますが、それから実際に仲良くなれるかは自分次第です。ただ現地の学生をカナダ国籍・永住権がある学生と定義するならば、あまり周りにはいませんでした。語弊があるかもしれませんが、日本人がイメージする白人のカナダ人はバンクーバー、とくに UBC にはそれほど多くありません。
他の留学生との交流について	前の項目に続きますが、アジアからの正規留学生がとても多いです。またカナダに移民してきたアジア人もたくさんいるので、みんなあまりカナダ人かどうかを気にしません。そのため、交換留学生だから正規の留学生やカナダ人のコミュニティに属せないとかもありません。交換留学生どうしで仲良くなるというよりかは、私の場合は正規留学生と知り合って仲良くなることが多かったです。
学外での活動について（地域コミュニティー活動等）	食べ物を配るボランティアを奨学金のためにしている留学生は結構周りにいました。
長期休暇中の過ごし方	Term 1,2 それぞれに一週間くらいの reading break と Term1 と 2 の間に二週間くらいの冬休みがあります。カナダ国内やアメリカ西海岸を旅行する人が多かったです。
その他	カナダ国籍を持っている人の学費は年に 60 万円くらいですが、留学生の学費は 400 万～500 万円くらいです。そのため、留学生はお金持ちが多く、心に余裕がある人が多いです。割り勘はせず払える人が払う、みたいな文化があるためお金の

	ことでぎくしゃくしない交友関係を築くことができます。 あとは英語力に関してですが、交換留学生の中でもヨーロッパから来ている学生は全員英語がネイティブレベルにできます。特にオランダ人の英語のうまさには驚嘆しました。初めのほうは圧倒されるかもしれませんが、日本人が韓国語を習得しやすいように、ヨーロッパ言語が英語と構造上近いから習得しやすいだけなので、引け目を感じることなく英語を話しまくっていたら自然と自信がつくと思います。

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	学生ビザ（student permit）
ビザの取得手続について（申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	私の時はコロナが不透明だったこともあり、5 月か 6 月頃に急に行けることが決まったので、それから慌てて申請を始めぎりぎりだったので、早めに終わらせることを強くお勧めします。所要期間は IRCC のホームページで調べられます。申請書類にエラーが出るなどトラブル続きでしたがこればっかりは自分でやるしかないので頑張りました。また私の場合は 8 月末になってもビザが来なかったので、後藤先生にメールを送り確認してもらったところ、その数時間後にビザが出たので、もしかしたらただの偶然かもしれませんが、催促することは大事かもしれません。
利用航空会社	エアカナダ
入国の際の現地空港名	バンクーバー国際空港
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	ウーバーで 20 分くらい。電車とバスを乗り継いでいくこともできるが荷物が多い場合はやめといたほうがいい。
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	Study permit の許可証を見せると study permit を空港内の別の場所で発行してくれる。質問は基本的なことしか聞かれませんでした。
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	お酒を買う時やレストランで頼むときに ID を提示しないといけないのですが、UBC の学生証や日本の免許証は認められないので、BCID を来てすぐに作ることをつよくお勧めします。30 ドルくらいかかり、また学生ビザの残りの期限が 6 カ月以上なければ作れません。そうしないと毎回私のようにパスポートを持ち運ぶ羽目になります。紛失の危険があるのももちろんですが、バンクーバーは雨が多いのでパスポートがふやけます。
その他	UBC 生は交換留学生でも公共交通機関乗り放題の定期券のよ

	うなものに強制的に入らされます。一か月 40 ドルくらいですが、バスは一回で 2.5 ドルくらい、スカイトレイン（電車と地下鉄とモノレールが合わさったようなもの）は一回で 3 ドルくらいするのでかなりお得です。勝手に引き落としされているのですが、自分で compass card をドラッグストアなどで購入して、ウェブ上で手続きしなければ使えないので注意です。ついてすぐしたほうが早めに定期券を使えるのでおすすめです。

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	有
奨学金名	住友化学グローバル奨学金
奨学金月額受給額（円）	総額 120 万円（月 15 万円）
入国時に用意した金額	クレジットカードのほかに念のため現金を 10 万円換金しました。
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	日本でも使っていた家族カードを使用しました。手数料を鑑みても、日本円を換金してカナダの銀行に入れるのとあまり変わらないようだったのでそのまま使いました。タップができないタイプのクレジットカードだったのですが、毎回支払いのたびに暗証番号を入れないといけなかったので面倒でしたがセキュリティ面ではよかったと思います。周りの友人はみんなタップできるカードを使っていました。
留学中に利用した銀行名	ICBC
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	学生の場合開設は無料なので絶対にしたほうがいいです。私のように日本のクレジットカードを使う人でも、こちらで生活していると、e transfer という無料で友人にお金を送金できるサービスを使う必要が出てきます。割り勘したときなどにアプリですぐに送金できるサービスです。その場合カナダの銀行にお金を入れる必要があるので、日本から wise などのサービスで送金するかあらかじめカナダドルを持ってきておいたほうがいいです。
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	Wise で日本から適宜お金をカナダの銀行に移して、デビットカードで支払いを行う留学生はとても多かったです。
日本からの送金方法について	Wise が便利です。
1 ヶ月の生活費（目安）	家賃を抜いてもなんだかんだ 8 万円くらいは使っていた気がします。
その他	奨学金に関して、私はいくつかの奨学金に応募しましたが、親の源泉所得を提出しなければいけない奨学金はだいたいそ

	こではねられました。うちは一般家庭ですが、それでも親の収入が一定以上ある場合ほとんどの奨学金は難しいです。ただ私がいただいた住友化学グローバル奨学金のように源泉所得を提出する必要がないものもあるので探してみるといいかもしれません。こちらの物価は高いので生活するのはかなり出費がかさみます。提出書類が多く大変だと思いますが、親の負担を軽くするためにも、出せる奨学金はすべて応募しておくことを強くお勧めします。実際にもらえた場合、精神的にもゆとりが出てきます。

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類(学生寮（一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等)	学生寮（Walter Gage）六人部屋（個室あり、キッチン・バスルーム共有）
家賃	月 900 ドルくらい
住居を探した方法・時期	4 月ごろ、UBC housing
荷物の運搬方法 （ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等	海外旅行用のキャリーケース二つ、あとは手荷物
その他	寮は絶対に応募したほうがいいです。日本のようないわゆる不動産屋さんがなく facebook market などで個人間で交渉する場合がほとんどのため、オフキャンパスで家を探すのはとても大変です。寮の応募だけで手数料 50 ドルとられるのはいただけませんが、2 term 留学ならほぼ確実に、1 term 留学でもオファーをもらえた交換留学生はいるので、アプライしておくべきだと思います。交換留学生はほとんどが walter gage の六人部屋か Fairview（4－6 人部屋）に割り振られるという噂を聞いたことがあります。実際日本からの交換留学生は数人を除いてみんな Waltergage でした。それぞれのユニットに最低一人は交換留学生がいました。寮でも交友関係を広げられるので、一人部屋ではなくシェアユニットを選択しておくことをおすすめします。Waltergage と fairview は UBC 内でも最も古い学生寮で、そのためシャワーが水しか出ないなどの不具合が生じます。その他の学生寮が比較的新しいこともあって、そこに住む友人のところに遊びに行くと悲しくなることもあるかもしれませんが、その分家賃は安いですし、交換留学生も他の寮にくらべてとても多いので、メリットもあ

	ります。最後に ritsumeikan house についてですが、私の周りで住んでる人はいませんでしたが、たぶん立命館からの語学留学生が多く住むところなのかなと思います。私の時はコロナで立命館からの交換留学生がこれなかったのですが、来れるときは 70 人近くがくるようなので、波に飲み込まれないように気を付けてください。

５．２　食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	食事つきの学生寮（Totem Park, Place Vanier, Orchard Commons）は一年生用寮なので、交換留学生は入れません(たとえ希望していても)。そのため自炊か外食になります。節約のために一人の時は自炊して、友人と食べるときは外食している人がほとんどでした。オンキャンパスにはたくさんテイクアウトできるところがあるので、自炊ができなくても問題はないですが、物価が高いため、どんな料理でも最低 10 ドルはするので気を付けてください
1 ヶ月の食費	500 ドルくらい
その他	スーパーについてですが、キャンパスから一番近い save on foods は少し割高なので、バスで 10 分くらいの No frills までいくのがおすすめです。基本的に物価は日本の 1.5～2 倍位なので気を付けてください。卵が 12 個入りで 4 ドル以上はします。お肉はだいたい 10 ドル以上します。

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	日本にいる間に phone box を契約し、sim カードを日本の住所に送ってもらっていました。5GB で月 50 ドルくらいです。ただ、現地で Fido などの格安 sim を契約した友人は 20GB で月 50 ドルと言っていたので、現地で契約するほうが安いのかもしれません。キャンパス内に支店があります。
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	上記に続きますが、日本よりも wifi 環境は整っているので、到着してすぐに Sim カードがなくてもキャンパスにはたどり着けるはずです。カフェやキャンパス内は wifi があります。オンキャンパスは ubcsecure か ubcvisitor が使えます。Waltergage はたまに wifi の調子が悪くなるので気を付けてください。私の経験上雨の日が怪しいです。
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	日本の大学より、パソコンがある前提ですべてが進んでいくので、パソコンは絶対に必要です。レジュメは印刷せずに ipad にダウンロードして goodnote などのアプリを使って直接書き込む人がほとんどなので、ipad も持っていたほうがいいと

	思います。実際私も留学前に ipad を買いましたが、ない留学生活が考えられないくらいあってよかったです。
郵便について	コロナの影響があったので今はどうかわかりませんが、日本からの封筒やはがきはだいたい二週間くらいで届きます。逆もしかりです。コロナの影響で、郵便局で大きい段ボールは、書類のみ受け付けてくれました。ただ食べ物を入れてもばれたことはありませんでした。
交通機関について	発達しています。バスとスカイトレインでだいたいどこでも行けます。U-pass という定期券に強制的に入らされるので、それでどこでも行けます。ただバスはかなり運転が荒く、座るまで待ってくれないので初めはびっくりするかもしれませんが徐々に慣れます。また UBC がバスの始発なのですが、予定時刻の前に勝手に発車することがあるので、時間に余裕を持ったほうがいいかもしれません。日本なら走って誠意を見せれば少しバス停で待っていてくれますが、カナダは基本的に待ってくれません。最初はへこみますがこれも徐々に慣れていきます。
治安について	良いです。特にアメリカにくらべると銃もなく安心です。ただHastingというDowntownの東側のエリアが治安が悪いと言われていて、実際ホームレスやドラック中毒の人がかなり多いエリアなので、夜はもちろん、昼間も一人で歩くのはやめておいたほうがいいです。オンキャンパスは夜一人で歩いてもまず大丈夫ですが、何があるかはわからないので用心はしたほうがいいです。
保険について	U-pass とおなじように、i-med という学内保険にも強制的に入らされます。交換留学の条件として日本での私費保険にも入らないといけないので、二重でカバーされることになりますがこればっかりは仕方ありません。
医療機関・薬について	病院にかかるのは日本のように簡単ではありません。まずUBCのヘルスケア担当の人にZoomか対面で症状を話して、病院への紹介状をもらわなければ病院には行けません。私は特に何もなかったのでその経験はありませんが、健康には十分に気を付けてください。また友人で虫歯が見つかりその治療に400ドルかかった人がいます。歯の治療は留学前に終わらせておくことを強くお勧めします。
気候と服装について	夏服はあまり必要ありません。9 月が少しあったかいですが、薄手の長袖でも問題ないくらいで、10 月から 5 月までは長袖

	です。日本の 8, 9 月はとても暑いので半袖を中心にパッキングしがちですが、交換留学は 4 月いっぱいで終わるので、夏まで残らない限り、半袖はあまり着る機会がないと思います。特に Term1 はあきれるくらい雨が多いです。10 月から 3 月は月の 20 日くらいが雨と思っておいたほうがいいです。天気が悪いせいで気分が落ち込む人も周りに結構いたので、ビタミン D をサプリで摂取したり、晴れの日は積極的に散歩したり、日本ではしなかった努力をしたほうがいいです。よくいわれるカナダ人傘ささない問題ですが、バンクーバーはアジア人が多いからか、割とそうでもありません。傘は持ってきておいたほうがいいですが、大きいのは邪魔になるので折り畳み傘で十分です。土砂降りの時はほとんどの人が傘をさしていますが、あまりにも毎日雨なので、少しの雨ならフードで済ませることが多いです。
普段の買い物について	前述のように、スーパーは No frills で、それ以外の洋服などはダウンタウンに行けばだいたいそろいます。
娯楽・行事について	バンクーバーは都会なので、日本でできることは大体できます。それ以外だと、ビーチが近くにたくさんあるのでそこで夕陽を見る人が多いです。あとは晴れの日が少ないからか、晴れになると Stanley Park をはじめとする自然が多いところを散歩する人が多いです。日本にいるときより晴れのありがたさを感じて自然に触れ合う機会が多くなると思います。
日本語の使用について	バンクーバーにはびっくりするくらい日本人がいます。特にダウンタウンには語学留学や coop 留学にきている日本人がたくさんいて、なんとなくすれ違う時に気まずくなります。UBC 内でも、授業で日本人に会うことはあまりないと思いますが、JA などの日本人コミュニティイベントに参加すると、どんどん日本人の知り合いが増えます。特に留学直後は寂しさから日本人同士で固まりたくなると思いますが、留学に来た理由を思い出して、ぜひ comfort zone から出る努力をしてみてください。楽な方に流れてしまうと、日本人交換留学生とばかりつるむという本末転倒な留学になってしまうところが、UBC,バンクーバー留学のマイナスな面だと思います。
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	日本の調味料です。バンクーバーはアジア人が多いので基本何でもそろいますが、それでも日本で買うよりは 2 倍くらい高いです。調味料を一からそろえるのは金銭的にも量的にももったいないので、醤油、酒、みりん、みそだけでも持っていくことをお勧めします。私も最初の一か月は日本食食べな

	くても大丈夫だと思ってパンとサーモンばっかり食べていましたが、普通に無理でした。食は精神の安定にもつながるので、ぜひおろそかにせず、カナダでも故郷の味を楽しんでください。
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	歯の治療。英語の勉強。こちらに来てから英語を上達させるよりも、日本にいるときから英語力を高めておいた方が、留学直後から友人との会話を楽しめると思います。語彙力を上げておいた方がいいです。
その他	特に女性に向けて、髪の話ですが、私は留学前にもともとかなり明るかったのを黒染め、肩くらいの長さまでカットしてから来ました。結果的にしておいてよかったと思います。というのもこちらの美容院はかなり高く､カットとカラーで300ドル以上するのでかなりの出費になるからです。またクオリティも日本に比べて高いとは言えません。また雨が多いこともあり、前髪はワンレンに越したことはありませんが、そこは個人の自由です。

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	私は就活をしなかったので、代わりに大学三年生で留学をしていた友人のことを書きます。
留学中の就職活動について（海外からの情報収集､企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	ボスキャリがオンラインだったので、それに参加していました。かなり大変そうでした。学校の勉強や遊びと両立しないといけないので、自己分析、面接練習は留学前に行っておいた方がいいかもしれません。ボスキャリは、友人たち曰く、日本での就活よりも簡単に内定がとれるらしいです。

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	アイエルツの勉強
留学中の学習方法、工夫したこと等	授業のスライドなどで知らなかった単語を片っ端から調べて使いました。スラングもかなり使われるので、たくさん現地の人と話して慣れたほうがいいです。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	帰国後にアイエルツを受けようと思っているので、定量的なことはまだわからないのですが、確実に上がったと思います。日常会話を問題なく行えることは自信につながりました。

８．その他

留学して得られたこと	積極性、図々しさ、チャレンジ力、サバイバル力。
留学中に困ったこと	二段階認証が必要なサービス（google）などの携帯電話番号を日本のままにしているとカナダについてから設定が変更できないので、ログインできなくなったこと
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

私が留学に行く前にも先輩方の UBC 体験談を読ませていただいたのですが、実際に現地に来てみないとわからないことばかりで、自分の力で一つ一つ解決していくしかなかったことが多かったです。しかし、振り返ってみるとその過程で成長することができたと感じます。なので、この体験談も参考にできるところだけ利用してもらって、あとは一個人の意見として読んでもらえると嬉しいです。

留学に行く前の手続きもカナダに住み始めてからも、コロナ禍の留学だったということもありトラブルは絶えず大変だったこともたくさんありましたが、振り返るとすべてがいい思い出になっていて、一人でも日本以外で生きていけるという強い自信につながりました。一方で、今回の交換留学は私一人では決してできなかったことで、交換留学が終わってあらためて私を支えてくれた人たちのありがたさを感じます。そもそも交換留学ができるのも海外の大学と協定を結んで手続等をすべて行ってくださる阪大の職員のみなさんがいるからで、私は大学四年生で留学をした関係で休学手続きや学生証の更新など、たくさんメールを送って毎回親切に対応していただいたので本当に頭が上がりません。しかもカナダの様々な手続きの遅さを一回体感するとより日本の手続きのスムーズさに驚きます。

留学に行くことが目的になってしまい、現地についてからの目標がなく、遊ぶだけの留学になってしまうことが往々にしてあり得ると思います。なので、後輩の皆さんには、

今一度交換留学に行く理由、成し遂げたい目標を行く前に書き出して、それが達成できるようにカナダで精いっぱい行動してほしいです。8 か月という短い期間なので、すこしでもやりたいと思ったことは早めに始めたほうがいいです。例えば、日本でも同じですが、バイトは帰国までの日数が少ないと採用されるのが難しくなります。クラブ活動も 9 月中に募集を締め切ることが多いです。

UBC はバンクーバーにあるので、現地に着くと驚かれるかもしれませんが、本当にアジア人が多くアジア料理も豊富で住みやすい街です。寿司屋とラーメン屋さんがたくさんあり、日本に興味を持っている外国人もたくさんいるので、会話も広げやすいし、ホームシックにもなりにくいと思います。UBC は University of Billion Chinese と学生たちの間でささ

やかれるくらい中国人をはじめとしたアジア人コミュニティが強く、そのためアジア人差別も聞いたことがありません。犯罪も少ないので、安心した留学生活を送れると思います。楽しい留学生活を送ってください！